

【施策評価調査】

施策名	4-3-3	商工会等の活動支援		112	施策目的 経営指導活動の強化。TMO事業の円滑な展開。
	高根沢町地域経営計画2006 該当ページ				
担当部課	建設産業部 産業課	担当	商工業		
		リーダー	石川正佳		
環境変化	昨年度(H18)TMOが組織され、平成20年度から、本格的な事業の実施に入る。商工会館建設事業費補助は平成18年度で終了した。(16,17,18年度)平成20年度より、県下全商工会で、商工会現場力底上げ事業を実施している。				指導員の活動を強化するために助成措置を拡充するなど、商工会の活動支援を行います。また、専門的な商品を扱うなど商品を特化し、消費者が買物の目的を達成しやすいような商店街づくりを進めます。さらに、意欲ある事業者による経済活性化協議会を組織化し、新しい商業活性化手法に関する研究を行います。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標 : 商工会経営指導回数	平成16年度実績	計画	642回	732回	822回	912回	1,000回
	巡回指導552回	実績	889回	984回	1,818回		
指標 : 空き店舗率の減少対策	平成16年度実績	計画	15.19%	14.88%	14.57%	14.26%	14%
	15.50%	実績	未測定	未測定	未測定		
指標 :		計画					
指標 :		実績					
指標に関する特記事項	平成20年度より、巡回指導の回数は、商工会職員全員の実施した巡回指導回数となった。(従来は、2名の経営指導員の実績)						

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	21,925,000	11,300,000	10,816,000		
	決算	21,925,000	11,300,000	10,816,000		

事務事業事前評価 22年度の組立て

施策傘下事務事業	事業費	活動指標(アウトプット)	事業の実施によって、施策達成にどう貢献しますか？(アウトカム)	
	H21 現計			
	H22 計画			今後の方向性 (総合評価)
	H21 現計			
	H22 計画			今後の方向性 (総合評価)
	H21 現計			
	H22 計画			今後の方向性 (総合評価)
	H21 現計			
	H22 計画			今後の方向性 (総合評価)

施策事前評価 22年度の組立て

自己評価	今後の方向性	後期計画に向けた施策展開のビジョン	H22年度の狙い
	廃止方向	当施策は4-3-1「商店街の活性化」と統合して会員事業所のスキルを上げ、経営の向上に繋がるよう、商工会の役割とすべき事業内容の洗い出しを進める。健全な商工会運営のため、人的経営資源(職員)のスキルアップや、商工会会員の意識の改革をしてゆく。	
総合評価	総合評価 「商店街の活性化」と「商工会等の活動支援」を統合することで、どういった成果とするのかが不明瞭である。経営指導をすることが「商店街の活性化」に繋がるのか？施策として事業内容を整理した上で、後期計画に向けて施策展開を検討すること。		